

FIFA Goal Project JFA メディカルセンター (仮称) 設立の件

Jヴィレッジのナショナルトレーニングセンターとしての機能強化、ならびにスポーツ医学の研究および教育・啓発活動の拠点として、下記の通り、メディカルセンター設立に向けた準備を始める。

尚、本件の実施については、FIFA Goal Project の認可と採算の合う事業展開が見込めることを前提とする。

■メディカルセンターの概要

1. 名称 : FIFA Goal Project JFA メディカルセンター (仮称)
2. 設置場所 : Jヴィレッジ敷地内
3. 機能 :
 - (1) スポーツによる外傷・障害等に対する診療機能
 - (2) リハビリテーション機能
 - (3) スポーツ医学の研究ならびにスポーツ障害に関するデータセンター機能
 - (4) スポーツ医学の教育機関機能
 - (5) アンチ・ドーピングの啓発拠点
 - (6) トップアスリートのスポーツ・メディシンの研究
 - (7) 子供の発育・発達期におけるスポーツ障害予防の研究
4. 整備主体 : 榎葉町 ※FIFA Goal Project より 40 万 US\$を補助
5. 施設整備費 : 約 3.7 億円
6. 運営主体 : 財団法人日本サッカー協会
7. 整備時期 : 平成 20 年度～平成 21 年度 (平成 21 年 8 月開設予定)
8. 対象者 : 各世代日本代表選手、JFA アカデミー福島生徒、Jヴィレッジ利用者、地域のスポーツ選手、地元一般住民等
9. 設備 : 診察室、待合室、処置室、レントゲン室 (X線)、MRI 撮影室、超音波診断装置、リハビリテーション室等
10. 施設規模 : 鉄骨造 1 階建 475 m² (約 144 坪)
11. 診療 : [外来診療] スポーツ科
半日 ; サッカー・スポーツ選手のための予約診療
半日 ; 一般診療
[処置] 手術設備はなし。簡単な縫合のみ。
[リハビリテーション] 理学・物理療法等
12. 測定・分析 : メディカルチェック、フィジカルチェック等
13. スタッフ : ドクター、看護師、放射線検査技師、アスレチックトレーナー、事務員等
14. ランニングコスト : JFA が負担 (医療機器のメンテナンス・交換等も JFA 負担)

■課題

- 1) 効率的かつ効果的な運営組織形態の立案
- 2) 採算ベースに乗せるための収入増およびコストダウンの施策

■今後のスケジュール

- 1) 12月7日(金) : JFA 理事会へ付議 (検討開始の承認)
- 2) 12月10日(月) : 福島県、楡葉町へ施設建設の要望
- 3) 12月下旬 : 福島県、楡葉町、JFA からのメンバーによる検討 (機能、設計・設備内容、スタッフ、予算等の検討)
- 4) 1月18日(金) : JFA 理事会へ付議 (実施の承認) →FIFA Goal Project への申請

■FIFA Goal Project とは (参考)

- FIFA の施設等に対する助成制度。(協会本部、ピッチ、フットボールセンター等)
- FIFA ゴールビューローという委員会において助成を決定するが協会がその施設の土地を使用する権利を25年間持つことが条件。
- 1プロジェクトに対し、40万USドル(約4,000万円程度)まで助成。
- 1プロジェクト終了後、増築等の目的で2期プロジェクトを申請すれば、再度40万USドルの助成を受けられる可能性もある。
- 現在までに、FIFA 加盟106協会が助成を受けており、承認済みの295プロジェクトのうち、121が進行中。さらに、計画段階のものが31ある。

今回の「メディカルセンター」は、FIFA ゴールプロジェクトの対象として、世界で初めての施設となり、FIFA としてもこの計画を期待している。

手続きとしては、FIFA ディベロップメントオフィス(担当:クアラルンプールオフィス)に対し、施設概要、建設計画を含めたプロジェクト申請をする。その申請に基づいて、FIFA ディベロップメントオフィサーが、プロジェクト実施に関する審理を行い、助成を決定する。

以 上